西分署高規格救急自動車
及び
高度救命処置用資器材一式
仕様書

有明広域行政事務組合消防本部

第一章　総　則

１　目　的

本仕様は、有明広域行政事務組合消防本部（以下「当消防本部」という。）が平成２５年度救急高度化資機材緊急整備事業で発注する高規格救急自動車（以下「本車両」という。）の車両及び艤装並びに高度救命処置用資器材等について必要な事項を定める。

２　概　要

本事業は、次に掲げる装備の整備事業をもって構成するものである。

⑴　高規格救急自動車　　　　　　１台

⑵　高度救命処置用資器材　　　　１式

３　適合法令

本車両は、次に掲げる法令その他関係ある法令通達、及び規格等に適合するものであること。

⑴　救急業務実施基準（昭和３９年自消甲教発第６号通知）

⑵　道路運送車両法（昭和２６年法律第１８５号）

⑶　消防防災設備整備費補助金交付要綱（平成１４年４月１日消防消第６９号）

⑷　その他、関係のある法令通達等

４　車両製造及び条件

車両は、この仕様書に適合して次の条件を満たし、救急車両として最適の構造及び性能を十分に有するものであること。

⑴　車体は、全有蓋で密閉式構造であること。

⑵　堅牢にして長期の使用に十分耐えるものであり、かつ維持管理が経済的に行えるものであること。

⑶　使用取扱上の安全性、操作性を十分に考慮したものであること。

⑷　清掃、点検、整備、修理及び部品調達等が容易に行えるものであること。

⑸　車両の主要構成品は、全て新規製品のものを使用すること。

⑹　使用材料及び部品は、新規製品又は新品のものを使用すること。

５　車両構成

車両は、次に掲げるものより構成されたものであること。

⑴　本体

⑵　取付品

⑶　積載品

⑷　付属品

6　車両製作工程表等の提出

製作工程表及び設計図一覧表を作成後ただちに２部提出すること。

7　車両の製作工程表及び設計図等

⑴　諸元明細図
⑵　製作概要図
⑶　資機材庫等の取付け図
⑷　冷暖房装置関係図
⑸　電気配線図
⑹　ヒューズ・電球の数量及び容量の一覧表
⑺　無線関係配置配線図（電源線まで）
⑻　シャーシ・エンジン整備要領書
⑼　取扱説明書及び点検整備要領書
⑽　完成車写真（製作工程時に日付入り写真を撮影し、電子媒体化したもの）

8　検　査

⑴　検査は、製作の途中でおこなう中間検査と、納車時に行う完成検査とする。
⑵　検査に必要な測定器具等は、受注者で準備すること。

9　契約の範囲

⑴　新規登録、各種検査に要する費用は受注者の負担とする。ただし、自賠責保険料、重量税、自動車リサイクル料は当消防本部が負担する。
⑵　１カ月又は、１，０００㎞点検時にエンジンオイル及びオイルエレメントの交換、部品の締め付け・調整等を行い、それに要する費用一切は受注者の負担とする。
⑶　受注者は、納入時に行う試験時の故障、破損等の修理に要する費用を負担すること。
⑷　受注者は、製作承認後、製作技術的に判断して、本仕様書の事項を改める必要がある場合は、当消防本部の承認と指示を受けた後に実施すること。
⑸　受注者は、製作承認後における一切の疑義は全て当消防本部の解釈に従うものとする。
⑹　本仕様書に記載なき事項で、メーカーの公表した仕様及び艤装についてはこれを施すこと。
⑺　受注者は、納入後当消防本部が行う取扱訓練等に対し、２回以上指導・講習等の

援助を行うこと。

⑻　本仕様書に明記していない仕様については、別途に当消防本部の指示指定によるものとする。

⑼　本仕様書記載事項中、やむなく変更の必要が生じた場合は、当消防本部と打ち合わせの上、書面若しくは図面をもって承認を受けることとする。

⑽　車両の燃料は満タンの状態で納入すること。

⑾　本仕様書記載の別表１－１～別表２－２の品目において後継機種等が発売された場合は後継機種への変更も可とする。

10　完成図書の提出

受注者は、完成納入時に次の資料を提出すること。

⑴	自動車車検証及び自動車損害賠償責任保険証（写し含む）	各１部
⑵	自動車損害賠償責任保険料及び自動車重量税の領収書	各１部
⑶	自動車諸元書及び取扱説明書	各２部
⑷	装備品諸元書及び取扱説明書	各２部
⑸	改造自動車等審査結果通知書	２部
⑹	点検整備要領書	１部
⑺	その他当消防本部が指示するもの	必要部数

11　保証期間

⑴　装備品　個々の装備品については、そのメーカーの定めた期間とする。

⑵　車　両　車両メーカーが定めた期間とする。

⑶　その他　保証期間の定めがないものについては、納入後２年間とするが、設計・工作・材質等の欠陥等に起因する不都合については、別に期間を定めず受注者の責任において無償にて、取り替え又は修理を行うものとする。

12　納入期限

契約後１８０日以内とする。

13　納入場所

有明広域行政事務組合消防本部

第二章　仕　様

１　車両の主要寸法等

⑴	全　長	５，７００mm 以下
⑵	全　幅	２，０００mm 以下

⑶	全　高	２，９００mm 以下
⑷	車室長　（後部車室の有効長さ）	３，１００mm 以上
⑸	車室高　（後部車室の有効高さ）	１，８００mm 以上
⑹	車室幅　（後車室中央部付近の有効幅）	１，６００mm 以上
⑺	ホイルベース	３，７００mm 以下
⑻	乗車定員	７名以上

２　使用材料及び部品の規格

公表した標準取り付け品及び付属品はすべて納入すること。ただし、この仕様で指定したものと重複するものについては除くことができる。

⑴　車両に使用する材料及び部品は、特に指定するものを除き日本工業規格品（以下「JIS」という）を使用すること。

⑵　主要構造部は、一般構造用圧延鋼材を使用すること。

⑶　その他の材料は次のとおりとする。

ア　プラスチック類は、すべて難燃性のものを使用すること。

イ　ゴム製品は、すべて耐油性の合成ゴムを使用すること。

ウ　木材を使用する場合は、十分乾燥したものを使用し、製作後変形や歪み等が生じないものとすること。

エ　メッキ部分は、硬質クロームメッキ仕上げとすること。

３　車両本体

⑴　構　成

本体は、シャーシ・ボデー及び付属装置から構成されるものとする。

⑵　構造及び性能

各部の構造及び性能は、次のとおりとする。

ア　外板は主として金属製又は FRP 製とし、主要部は溶接仕上げとすること。

イ　総体的に重量軽減を図り、前後輪荷重及び左右荷重のバランスを考慮すること。

ウ　構造は、堅牢で耐久性が十分にあること。

エ　板金等の切断端には危険防止のため丸みをつけること。また、溶接のバリ等がないこと。

オ　全般にわたり、防錆・防水性を考慮すること。

カ　マフラーの構造は、傷病者室への排気ガスの流入を極力抑えた構造であること。

⑶　エンジンの種類及び出力
　ア　ガソリンエンジン仕様とする。
　イ　１５０PS 以上とする。

⑷　動力伝達装置
　ア　駆動方式は２輪駆動方式とする。
　イ　トランスミッションは、オートマチック４速以上で計器盤内シフトポジションインジケータ付とし、ポジションが運転席より容易に確認できること。
　ウ　構造は堅牢で、十分な耐久性を有すること。
　エ　あらゆる気象条件及び走行条件下において、十分な伝達性能を有すること。

⑸　操舵装置
　ア　パワーステアリング式とする。
　イ　あらゆる走行条件下で、安全に操舵できること。

⑹　懸架装置
　ア　懸架装置は、救急車専用として特別に設計されたもので、十分な緩衝性能を有すること
　イ　バネは十分な耐久性を有すること。

⑺　制動装置
　アンチロックブレーキシステム（ABS）を装備すること。

⑻　タイヤ等
　ア　タイヤは全てラジアルタイヤ（予備タイヤもラジアル）とする。
　イ　タイヤハウスに泥除けゴム（純正品）を備えること。
　ウ　一時停車用に車輪止め（ロープ付き 2 個 1 組ゴム製）を備えること。

⑼　電装品
　ア　バッテリーは、救急資器材（アイドリング状態での救急処置等活動時）、患者監視等の資機材及び無線機、AVM 装置、自動車電話等に必要な電気容量を確保できること。
　イ　充電発電機は、１２V－１４０A 以上のものを必要数使用し、各機器の使用に必要な電気容量を確保できること。

ウ　バッテリー収納部は、容易に点検整備が行える構造とすること。

エ　電装品は雑音電波の発生が少ないものを使用し、他機器の誤作動防止に努めること。

オ　電気配線は容量十分なケーブルを使用し、天井及び側板内等に敷設すること。

カ　積載機器に対しては、電波障害防止策などの対策を十分に講じ、誤作動が発生しない構造とすること。

キ　熱に弱い電装品は、エンジン等の発熱部から十分な距離をとって取付け、又は防熱対策を施すこと。

ク　DC１２Vを１００Vに変換できるD／Aインバーターを必要数設けること（出力波形は正弦波D／Aインバーター３００W以上)。

ケ　コンセント設置箇所には表示（外部商用・インバーター）をすること。

コ　AC１００V外部電源用マグネットコンセントを車両後部右に設けること。(マグネット式コンセントケーブル１０m含む)

サ　AC100Vインバーター出力コンセントを、傷病者室後方右窓下部に２口、傷病者室右側前方に２口（蓋無し）を設けること。

シ　傷病者室内右窓前部に、吸引器・電話器用DC12Vシガライターコンセント（３口）を設けること。

ス　傷病者室内の電装品スイッチは、隊員が容易に操作でき、かつ支障のない位置に設けること。

セ　電流計及び電圧計を、中央パネルの適当な位置に設けること。

ソ　室内照明（ＬＥＤ蛍光管に変更できればＬＥＤに変更する）は、患者の症状及び救急隊員の業務遂行に支障のない照度を有すること。

タ　マップランプは、隊長席左側付近に設けること。

チ　増設ヒューズボックスは、点検が容易な場所に設けること。

⑽　燃料タンク

燃料タンクの容量は、６５リットル以上とすること。

⑾　車体構造

ア　運転者室及び傷病者室

車体はワンボックス構造とし、運転者室及び傷病者室の往来が容易にできる構造とすること。

イ　内装及び天井

(ア)　各内装材の色は、白色系、グレー系、クリーム系、又は茶系とし、色調の調和を図ること。

(イ)　天井は、断熱性及び遮音性を考慮し、内張り加工を施すこと。

(ウ)　アンテナ及び赤色蛍光灯の台座取付け部は、容易に点検が行える構造とすること。

(エ)　天井の内張りは、配線等の点検が容易に行える構造とすること。また、各機器取付け部の天井裏面には補強を行うこと。

ウ　床　　等

(ア)　運転者席の床は標準仕様とするが、傷病者室の床は上質のロンリュウム張り等で張ること。

(イ)　使用するロンリュウム張り等は、内装色と調和する色調とすること。

(ウ)　傷病者室の床は、水洗いに耐える十分な防錆・防水処置を施すこと。

エ　ド　　ア

(ア)　運転室の左右側面、傷病者室の側面（左だけでも可）及び後部にはドアを設けること

(イ)　傷病者室の側面ドア（以下「側面ドア」という）は、スライド式に開閉できるものとし、傷病者等の乗降及び各種救急資器材の出し入れに支障のない幅、高さを有すること。

(ウ)　後部ドアは、メインストレッチャー等の出し入れに十分な幅、高さを有すること。

(エ)　側面ドアは、全開時に自動的に固定する構造であること。

(オ)　後部ドア及び側面ドアの左又は右側には、乗降時に使用する取手を取付けておくこと。

(カ)　側面ドア及び後部ドアの下方には、乗降時に使用するステップを設け、各ステップ上面にはアルミ縞板を取付けること。また、後部バンパーに傷つき防止板（縞板）を施すこと。

(キ)　左サイドステップ及びリアステップに、セーフティーウォーク（滑り止め）を貼りつけること。

(ク)　施錠方式については、運転席での集中ドアロック方式とすること。

(ケ)　側面ドア及び後部ドアには、オートクロージャーを取付けること。

(コ)　後方ドアの傷病者室側上部に、可動式のサーチライトを取付けること。

(サ)　助手席ドアに隊長席から後方が確認できる補助ミラーを取付けること。

(シ)　ステップ灯は、後部ドア及び側面ドアのステップに設けること。

オ　窓

(ア)　側面及び後面に、必要に応じた窓を取付けること。

(イ)　傷病者室の窓は、全面標準装備のプライバシーガラスとし、側面窓ガラス３

分の２、後部窓ガラス４分の３に、くもりフィルム（すりガラス状）を貼り付け、後部ドア窓ガラスは熱線入りとすること。

(ウ)　傷病者室の左サイドウインドウ、側面ドア及びバックドアにカーテンを取付けること。なお、バックドアのカーテンは電動とする。

(エ)　運転席及び助手席は、パワーウィンドウとする。

カ　室内の規格

(ア)　運転席の規格は、次のとおりとする。

a　座席の配置は運転席及び隊長席の２座席とし、サンバイザーを取付けること。

b　運転席及び隊長席のシート地は、メーカー標準のものに、厚手の透明なビニールカバーを施すこと。

c　運転者室内は、記録のためのバインダー等を収納するスペースを有すると共に、照明装置を設けること。

d　運転席及び隊長席は、メーカー標準の一人掛けとし、前後に移動調節ができる構造で、３点式シートベルト（巻き取り型）を設けること。

e　隊長席から傷病者室が確認できるミラーを設置すること。

f　運転席及び隊長席にフロアマットを敷くこと。

g　助手席には非常用発煙筒を備えること。

h　助手席の後部にパーティションボードを設置すること。

(イ)　傷病者室の規格は、次のとおりとする。

a　座席数は４座以上とする。

b　各座席にはシートベルトを設け、使用しない時にはコンパクトに収納できること。

c　左側の前部付近に１座を設け、その他の座席は処置し易い位置に有効に配置すること。

d　ベッド頭部側の座席は跳ね上げ式とすること。

e　各座席には背当てを設けること。

f　ベッド左側の座席は跳ね上げ式とし、下部に収納庫を設け、収納庫内に２ℓ酸素ボンベ用の固定装置（減圧弁無し状態用）を設けること。

g　前向き席は、ハイバックシート（３点シートベルト）とし、下部に消火器を取付けること。

h　室内蛍光灯調光器（２段若しくは３段切換え）を、傷病者室前方上部の適当な位置に取付けること。

キ　その他

(ア)　バックドア開放と連動する、ハザードランプ点滅装置を取付けること。

⑿　冷暖房装置等

ア　冷暖房装置等は、メーカーの標準仕様とする。

イ　傷病者室の適当な位置に、電動換気扇を設けること。なお、風雨等により雨水が浸入しない構造とすること。

⒀　資機材収納庫等

ア　各資機材庫の形状及び寸法は、車両構造に合わせて当消防本部が指示する。

イ　収納庫の構造は、資機材の構造を損なうことなく、安全かつ確実に積載できるものであって、一般的事項は次のとおりとする。

(ア)　傷病者室に本仕様書に記載の、それぞれの資機材を収納できる棚及び、資機材庫を必要に応じ設置すること。

(イ)　構造は堅牢で、かつ走行中の振動による異音等の発生が少ないものとし、寸法精度が高く、ゆがみ又は隙間等が少ないようにすること。また、各機器の機能を損なうことなく、安全かつ確実に積載できること。

(ウ)　外面及び内面には、危害を生じ又は収容物に損傷を与える恐れのある、鋭利な突起物等が無いようにすること。

(エ)　各扉及び引き出しは、走行中の振動又は、収容物の移動により開放しない構造とし、また、資機材の固定装置は機能が確実で、かつ容易に固定及び解除できるものとすること。

(オ)　内面には、必要に応じ積載品の固定装置及び緩衝材を設けること。

ウ　収納庫

(ア)　運転席後部傷病者室側に縦型収納庫を設置し、内側後面にオートパルス用収納スペース（固定ベルト２本付き）を設け、下部には厚さ2センチ程度の緩衝材を設け、内側前面に汎用３段棚を設けること。

(イ)　傷病者室右側ルーフサイド前・後及び、傷病者室左側ルーフサイド前・後（後は中仕切なし）に収納庫を取付けること。

(ウ)　傷病者室前方の適当な位置に、レントゲンフィルム等の収納庫を設けること。

(エ)　傷病者室前方の当消防本部が指示する位置に3段収納庫を取付けること。

(オ)　傷病者室右側後部に、スライド式扉タイプ収納庫を取付けること。

(カ)　患者監視モニター両サイド付近に、患者回路等の収納庫を設けること。

エ　その他の小物入れ等

(ア)　運転者室左右のドアの内側には、ドアポケットを各１個設けること。

（イ） Ｃ型フックを運転者室及び傷病者室の当消防本部が指示する位置に１１個程度取付けること。

（ウ） ウォークスルー部に地図入れボックス（蓋無し）を設けること。

（エ） 運転席天井に、レザー収納袋（２個）を取付けること。

（オ） その他当消防本部が指示する位置に、小型の収納庫及びティッシュ・グローブボックス固定器具を５個程度（マグネット式１個含む）取付けること。

（カ） 傷病者室後向き席の左手脇に、Ｂ４サイズ程度のバインダー収納庫を取付けること。

（キ） 傷病者室内の当消防本部が指示する位置６ケ所に、収納用ネットを取付けること。

オ　酸素吸入装置

（ア） 酸素ボンベ固定装置は傷病者室に設け、バルブの解放及び視認ができること。

（イ） 酸素ボンベ固定装置は、ボンベ（10 リットル）２本以上をそれぞれ個別に脱着できる構造とすること。

（ウ） 酸素ボンベに打刻「Ｕ２９７」を入れること。

（エ） 傷病者室に酸素配管を設け、その位置及び構造は、次のとおりとすること。

a　酸素配管は、主として車内に露出しない構造とすること。

b　酸素配管は、十分な耐圧力及び耐蝕性を有すると共に、走行中の振動、衝撃等に十分耐えうる強度の材質のものを使用すること。

c　酸素配管には、酸素ボンベの近くに酸素送り出し用接続口及び３方チーズを傷病者室内の使用に適した位置に適時設けること。

d　酸素配管は、電装品等から十分な距離を取り、かつ走行中の振動に十分に耐えられるように確実に固定すること。

e　酸素ボンベと、酸素送り出し用接続口との間、及び酸素取り出し用接続口と２連式加湿酸素流量計との間の酸素配管は、十分な耐圧力を有するものを使用すること。

（オ） アルミ酸素ボンベ用受け皿金具を２個取り付けること。

カ　メインストレッチャー関係装置

（ア） メインストレッチャーは、エクスチェンジストレッチャータイプの各体位ポジション調節可能なキャリングハンドル付とし、次のとおりとする。

a　左右サイドアームカバーを取付けること。

b　左右サイドアームリリースリンゲージシステムを取付けること。

（イ） 架台は次のとおりとする。

a　傷病者室中央付近に設けること。

b　メインストレッチャーを確実に固定し、かつ容易に解除できる構造の固定装

置を設けること。

c　架台は左右スライド可能な構造とし、仰臥位の傷病者の体位変換ができるものであること。

d　水平移動は手動式とし、操作スイッチ等は操作し易い場所に設けること。

e　架台には、車体からメインストレッチャーに伝わる、振動及びブレーキの制動時に発生する衝撃などを十分に吸収できる機構を設けること。

f　架台の高さは、メインストレッチャーを容易に車内外に出し入れできる高さにすること。

g　防振ベッドは、磁気式の架台とする。

（ウ）　スクープストレッチャー固定装置は、次のとおりとする。

a　傷病者室内に収納状態で、固定バンド等で確実に固定すること。

b　スクープストレッチャーを、展開使用する状態で確実に固定し、かつ容易に解除できる装置を設けること。

キ　足踏み式汚物入れ

足踏み式汚物入れを、傷病者室の有効な場所に取付けること。

ク　自動車電話及び無線装置等

（ア）　自動車電話については、受注者が一切（運用開始から取扱い説明に至るまで全て）を行うものとする。

（イ）　消防用無線装置（日本電気株式会社製デジタル／アナログ無線機）一式を収納できるスペースを設けることとし、手続きにかかる一切の費用は受注者が負担すること。なお、無線機本体及びデジタル無線用アンテナ（1/4λ基線付アンテナ）一式は当消防本部が支給するものとし、アナログ無線用のアンテナは受注者が用意し、アンテナの設置、車内スピーカー等への接続及び費用は受注者が負担すること。

（ウ）　送受話器は、運転者席に１台及び傷病者室隊員席付近に１台を設けること（取付けプレート含む)。

（エ）　無線機・アンテナ・AVM装置及び各機器の取り付け個所について、当消防本部と十分協議し、取付架台を取り付けること。

AVMモニター用台は、AVMディスプレイと受話器を取付けできるものとする。

（オ）　傷病者室前方天井部・運転者室天井部（左）に各１個無線機用モニタリングスピーカーを取付けること。（遮断スイッチ付き）消防本部が設置するデジタル無線機の取りつけが容易に出来るように配慮し、配線等を設置しておくこ

と。

ケ　手洗い装置

手洗い装置を収納庫に改造し、収納庫の上面部はステンレス製のトレイとすること。

コ　その他

(ア)　傷病者室の床と、各資機材庫との接合部には、水洗いに耐える十分な防水処置を講ずること。

(イ)　傷病者室天井には、傷病者観察用スポットライトを必要数以上設けること。

4　取付品

⑴　取付け品及び付属品は別表１－１・１－２・１－３に掲げる取付品は、次により取り付けること。

ア　取付け品は補強を十分に施し取付けること。

イ　取付け品は無線障害の少ないものを使用すること。

ウ　取付け品の配線は、十分に容量のあるケーブルを使用し、天井及び側板内等に施設すること。

エ　電装品は充電部が露出しないものであること。

⑵　赤色警光・点滅灯及びサイレン等

ア　赤色警光・点滅灯は次のとおりである。

(ア)　フロントルーフ及びリヤルーフサイド左右に散光式赤色警光灯を取り付けるものとし、すべてＬＥＤ赤色警光灯とする。

(イ)　フロントバンパー中央付近に赤色点滅灯２灯（小糸製ＦＢLED１２・2 灯）を取り付けること。

(ウ)　フォグランプ２個をフロントバンパーに取付けること。

(エ)　路肩灯（ＬＥＤ球に変更できればＬＥＤに変更する）を左右後輪の前側に取付けること。(スモールランプ連動、メインスイッチ付)

(オ)　左右フロントドア上部付近にサイドフラッシャーランプを取付けること。

(カ)　ルーフサイド左右に、救急活動のための作業灯を左右（ＬＥＤ２灯×２）に設けること。

(キ)　フロントルーフ及びリヤルーフサイド左右散光式赤色警光灯の下方に赤色LED 点滅灯（大阪サイレン製 LF-12 計 4 個）を取付け。(散光式赤色警光灯と連動)

(ク)　フロントルーフ散光式赤色警光灯内に赤色ＬＥＤ点滅灯を増設すること。

（散光式赤色警光灯と連動）

イ　電子サイレン（拡声装置付）等は次のとおりとする。

(ア)　アンプ（音声合成付き）は、中央パネル又は、その付近の操作しやすい位置に設けること。

(イ)　スピーカーは、室内への浸過音の低減を考慮した位置とする。

(ウ)　フレキシブル型マイク（パトライト製、ON・OFF スイッチ付）は、運転席側のドア上部付近に設けること。

(エ)　バックブザー（音声合成式）を車両後部に取付け、メインスイッチは運転席ハンドル左側付近に設けること。

(オ)　出場予告放送機能をスタートさせるスイッチを中央パネルに設けること。

(カ)　音声メッセージスイッチ（直進・交差点）を中央パネル及びハンドル左側に取付けること。

ウ　電子サイレン（ウー音）は次のとおりとする。

(ア)　操作スイッチは、中央パネル及びハンドル右側に取付けること。

エ　モーターサイレンは次のとおりとする。

(ア)　モーターサイレンを車両前方の適した位置に取付けること。

(イ)　スイッチを、中央パネル・運転席ハンドル左側に取付けること。

(ウ)　フットスイッチを、隊長席の足元付近の操作が容易で支障のない位置に設けること。

(エ)　自動吹鳴リレー装置付き。

⑶　その他の取付品

ア　消防章は、フロントパネル中央部に取付けること。

イ　フロント左ドアに補助サイドミラーと、左右フロントドアにサイドバイザーを取付けること。

ウ　加湿流量計は、患者室右側の救急処置に支障にならない位置に取付けること。

エ　傷病者室内に人工呼吸器一式（クルーズ２１）を移設することとし、固定金具台座等は専用とし、車内使用のための電源、配線等を設置すること。移設後には車内で正常に作動することを確認すること。

オ　傷病者室右側前方収納庫扉にホワイトボード（A3・マグネット対応、１式）、収納庫後壁にホワイトボード（A4・マグネット対応）を取付けること。

カ　牽引用フックをフロントバンパー下部に堅固に取付けること。

キ　傷病者室内にバックボード固定装置を設けること。

ク　車両右側面にレスキューツール及び夜間照明を取付けること。

ケ　吸引カテーテル保持パイプを吸引器固定装置付近に取付けること。

コ　アシストグリップを、当消防本部が指示する位置に３箇所設けること。

サ　ヘッドランプは、ディスチャージヘッドランプ（オートレベリング付）を取り付けるものとし、設定がないものについては、白色系ヘッドランプとする。

シ　スタッドレスタイヤ（ホイール付）４本を備えること。

ス　吸引器固定装置（レールダルLSU４０００用）を傷病者室酸素ボンベ収納庫上部に取付けること。（専用レール含む）

セ　救急モニター一式（日本光電製救急モニター BSM-3000 シリーズ ライフスコープ VS 一式）を新設することとし、取付け金具台座等は全て専用とする。

ソ　引出し、収納庫には全てロンリューム緩衝材を敷くこと。

タ　除細動器固定装置を傷病者室右側に取り付けること。（縦310×横310mm程度対応）

チ　外部電源入力中はエンジンスタートできないスターターカット機能付きとする。

ツ　納車時の装着タイヤについては、標準タイヤかスタッドレスタイヤを消防本部が指示するものとする。

5　積載品

積載品は別表２－１及び別表２－２のとおりとする。

⑴　患者監視装置及び除細動器は、容易に操作できる場所に装備すること。

⑵　各種モニターから患者に装着するコード類は、活動を妨げない配置とし、座位の傷病者に対して使用できる十分な長さとする。

⑶　患者監視装置のコードは、ハム混入等の影響を受けにくい物を使用すること。

⑷　取付けが必要なものは専用取付け金具を設け、資機材の機能を損なわない様にするとともに、走行中の振動・衝撃に対し故障等しない構造とし、堅牢に取付けること。

6　塗装等

⑴　車体の塗装は救急自動車使用とし、亀裂・剥離等による錆が発生しないように特に念入りに行うこと。

⑵　外板等の白色塗装は、錆落としを完全に行い表地面を滑らかに磨きあげ、次によること。

ア　プライマリー塗り後、及びフェーサー塗り後、及び上塗り後に研磨を行うこと。

イ　車体は、下回り錆止め塗装を行うこと。

⑶　記入文字及びマーク

運転席・助手席・両側面・両ルーフサイド・後部ドアに、「有明広域消防本部」、スターオブライフ、ARIAKE 等、当消防本部が指示するものを記入すること。字体・色・寸法・塗装色等、詳細ついては、当消防本部と打ち合わせを行い、当消防本部が指示するものとし、反射素材使用部分については、マイクロプリズム反

射素材（AP1000 シリーズ DL タイプ）とする。

⑷　対空表示

表示場所はキャビネット上とし、文字は横書き一列で一文字６００mm×３００mm を基本とし「有Ａ１」と記入する。詳細な記入個所については、当消防本部と打ち合わせをすること。

⑸　識別表示

外側から向かって車両のフロントパネル右側及び、車両後部右側に丸ゴシック体で「西Ａ１」と記入し、マイクロプリズム反射素材を使用すること。なお、色・文字の大きさ・詳細な記入場所は、当消防本部と打ち合わせをすること。

７　銘　板

銘板は、次により取り付けること。

⑴　各スイッチ類には、名称及び「入・切」又は、「ON・OFF」の表示をすること。

⑵　その他、銘板が必要と思われるものについては、銘板を取付けるものとする。

８　その他

⑴　本仕様書に記載されている品名は、当消防本部と協議の結果、同等以上の性能を有していると認めたものについては、承認を受けて変更することができるものとする。

別表　１－１

取付品

番号	品　　　名	数量	規　　格　　等
1	防振ストレッチャー架台	１式	・磁気式とする。 ・左右スライド機能付 ・ＣＰＲロック機能付
2	メインストレッチャー	１式	・ファーノ ST70-J・RS-J 一式 抗菌マットレス１個、枕２個（オレンジ角型とかまぼこ型各１） ・左右サイドアームカバー ・左右サイドアームリリースリンゲージシステム
3	電子サイレン	１式	・パトライト製 ＳＡＰ－５００ＲＢＶＺ

			（ハーモニックサウンド、フェードインアウト機能付）
4	散光式赤色警光灯	１式	・補助ＬＥＤ赤色灯増設
5	酸素呼吸器一式及び取付	１式	・オキシパック OX-FDX ヨークバルブ仕様（ジュンロン３口付） ・延長ゴム管、バルブ用金具付き ・打刻「U297」 ・酸素ボンベ１０ℓ2 本についてはアルミ酸素ボンベロレットタイプとする。
6	消火器	１本	標準（自動車用 ABC 粉末 1.8k) 傷病者室前向き席下部に設置

別表１－２

取付品

1	無線機新設 （無線機本体及びアンテナは当消防本部が支給）	１式	・消防波、救急波 ・同時ＯＮ，ＯＦＦスイッチ取付け
2	モーターサイレン	１式	・５ＳＡ型モーターサイレン（大阪サイレン製） ・スイッチ２個 ・足踏みスイッチ付き ・自動吹鳴リレー付き

別表１－３

車両取付品及び付属品

番号	品　　名	数量	規　　格　　等
1	サンバイザー	２個	標準仕様
2	サイドバイザー	１式	左右フロントドアに取付け
3	マッドガード	１式	標準仕様
4	スペアタイヤ	１式	標準仕様
5	フロアマット	１式	
6	タイヤチェーン	１式	イエティースノーネット後輪用
7	非常停止版	１個	三角表示板
8	車両用工具セット	１式	サービスツールハーフセット
9	車輪止め	２個	ゴム製

１０	予備電球	１式	取付け数の半数以上
１１	予備ヒューズ	１式	
１２	手洗い装置	１式	収納庫に改造
１３	アナログ時計	１式	傷病者室右側に取付け
１４	ダストボックス	１式	車両取付タイプ
１５	換気扇	１式	傷病者室に取付け・フィルター付き
１６	牽引用フック	１式	標準仕様
１７	消防マーク	１個	１５０mm
１８	輸液ポンプ固定用ポール	１本	傷病者室右側に取付け
１９	サイドフラッシャーランプ	１式	フロントドア上部ルーフサイド左右
２０	レスキューツール５点セット及び取付け	１式	・車両右側に取付け ・照明付き
２１	音声合成装置	１式	メインスイッチ付
２２	フレキシブルマイクロホン	１個	パトライト製、運転者席右側上部取付
２３	ドアロックリモコン装置	１式	標準仕様
２４	共用器取付ベース	１式	
２５	横向き３人掛けシートベルト	１式	
２６	アシストグリップ	３式	
２７	室内灯調光器取付け	１式	傷病者室蛍光灯
２８	AC100V インバーター出力・外部商用コンセント	１式	
２９	300W 正弦波インバーター	１式	
３０	DC12V シガライター型コンセント	１式	
３１	ペーパータオルホルダー	１式	患者室取付け
３２	輸液ビンホルダー（２本分）	１式	傷病者室天井後部に取付け
３３	傷病者室カーテン	１式	
３４	ナビゲーションシステム(SD4GB)	１式	バックガイドモニター、VICS 付き
３５	バックボード固定装置（バックボード含まず）	１式	ファーノモデル２０１０が傷病者室に取付け可能となる構造
３６	スクープストレッチャー固定装置取付け	１式	傷病者室に取付け
３７	無線モニター用スピーカー	１式	・傷病者室前方天井部 ・運転室天井部（左）

			・それぞれ遮断スイッチ付き
３８	除細動器固定装置取付け	１式	右棚取付け
３９	救急車載モニター固定装置取付け	１式	右棚取付け
４０	ナンバープレートグリル	２個	
４１	フォグランプ	１式	
４２	路肩灯	１式	左右後輪用（メインスイッチ付）LED 灯に変更できれば変更する
４３	ルーフ側面作業灯	１式	・ＬＥＤ大阪サイレンＬＩ－２１取付け ・運転室に ON/OFF スイッチと左右切換えスイッチ取付け（設定がない場合はウィレン製ＣＳ５08ＴＨＺ　左右各 2 個）
４４	助手席用インナーミラー	１個	
４５	助手席アウトサイドミラー	１式	取付け
４６	電流計・電圧計	１式	インパネ中央に取付け
４７	地図入れ	１式	・ウォークスルー部に取付け ・A3 サイズ蓋無し
４８	収納ネット	１式	・傷病者室 6 カ所
４９	ホワイトボード	２式	・A3　１個（マグネット対応） ・Ａ4　１個（マグネット対応） （黒ペン 2 本・赤ペン 2 本・ラ―フル 2 個・ペンたて 2 個付き）
５０	C 型バネ付フック取付け	１式	・11 個（取り付け位置については当消防本部が指定する位置とする）
５１	収納庫取付け	１式	・傷病者室運転席後部に縦型収納庫 前側に汎用３段棚、後側にオートパルス収納（固定ベルト 2 本付き・底部緩衝材） ・傷病者室右側ルーフサイド前・後 （前後とも内部上下仕切り棚付き） ・傷病者室左側ルーフサイド前・後（後面中仕切りなし） ・傷病者室右後部（大）
５２	小型収納庫及びティッシュ固定器具取り付け	１式	・6 個（マグネット式含む）
５３	レザー収納袋取付け	１式	運転室天井に２個

５４	ネームプレート	１式	２４枚
５５	輸液ビンホルダー	１個	天井アシストバーに取付け（移動タイプ）
５６	赤色警光灯	１式	・車両側面前後・左右計４灯（大阪サイレン製 LF-12） ・フロント　小糸製 FBLED１２（2 灯）
５７	シートカバー（ビニール製）	２式	運転席・隊長席
５８	ヘッドランプ	１式	ディスチャージ（オプション設定がないものは白色系ヘッドランプ）
５９	スタッドレスタイヤ	４本	ホイール付
６０	外部入力マグネット式コンセント（車両後部右）	１式	マグネット式コンセント用ケーブル含む
６１	デジタル電波時計	１式	傷病者室右側取付け
６２	温湿度計	１式	傷病者室右側取付け
６３	エンジンスターター・カット機能付き	１式	
６４	ＥＴＣ	１式	
６５	パーティションボード	１式	助手席後部に設置し、ウエルパス（１ℓ）収納庫付き

別表２－１

高度救命処置用資器材

番号	品　　　名	数量	規　　格　　等
1	気道確保用資機材	１式	・HEINE　LED 喉頭鏡セット１式 （型番 136－055-74、136－050-50 136－050-60、136－050-70、136－050-80） ・アンブ蘇生バッグⅣ成人用１式 （・収納バッグ、スプラッシュガード、リザーバーバッグフェースマスク NO5 付） ・アンブ蘇生バッグⅣベビー用１式 （・収納バッグ、フェースマスク NO0、リザーバーバッグ） ・アンブシリコンフェースマスク （NO0A、0、2、4、5 各３個）
2	自動車電話及び取付け	１式	・デジタル携帯電話（FOMA）

			・Ｆ－０１Ｅ（レッド） ・ＡＣアダプタ ・車載オプションＤＣアダプタ０２ ・卓上ホルダ ・取付付属品 ・ＦＯＭＡ用充電器 ・ヘッドセット プラントロニクスボイジャーレジェンド　2個 イヤーチップキット　Ｍ、Ｌ ボイジャーレジェンド充電ケース　１個
3	心電計（患者監視装置）（取付け含む）	１式	・ベッドサイドモニタ（BSM－3562－Q91）１ ・心電図誘導コード（12 誘導用）（K901）１ ・バッテリパック（X075）３ ・フィンガープローブ（P225F）１ ・マルチプローブ（P225G）２ ・ＣＯ２センサキット（TG－900Ｐ）１ ・エアウェイアダプタ（YG—101T）１ ・記録紙（FQW50－3－100）１ ・ＳＤデータカード１枚
4	除細動器及び取付け	１式	・ハートスタート FR３PRO＋ECG ディスプレイ付 （構成） ・除細動器本体　・FR3 ディスポーザブルバッテリー・FR3 スマートパッドⅢ （オプション） ・FR3 システムケース（スモール）1 個 ・小児キー　1 個 ・FR3 データカード　2 枚 ・ファーストレスポンスキット　1 個 ・FR3 ソフトウェア　　1 個 ・FR3 ディスポーザブルバッテリー５本 ※納車時までに①ＦＲ３用充電式バッテリー②専用充電器、③ＦＲ３用ＥＣＧモジュラーケーブルが発売された場合、消防本部と協議し①②③各１を納品するものとする。

別表２－２

救急資機材

番号	品　　　名	数量	規　　格　　等
1	ファーノモデル５１４９	1個	オレンジ
2	収納ポーチ	1個	LSU4000用
3	ファーノモデル5102トラウマキット	2個	ブルー、オレンジ各1個
4	オキシゲンキャリーバッグO－１００	1個	オレンジ
5	フィンガー　ディジット	1個	スミスメディカル社製・ストラップ付き
6	減圧弁	1個	モデル８０１Ｊ
7	レスキューシザー	1個	
8	ペンライト	1本	ＭＭＩ　ソフトＬＥＤ
9	ウォール型アネロイド血圧計	1個	傷病者室右側後部取り付け
１０	リットマン™エレクトロニック ステソスコープモデル3200	2個	色バーガンディ
１１	リットマン™エレクトロニック ステソスコープトラディショナル	1個	色バーガンディ
１２	ライフバンド	27本	オートパルス用
１３	オートパルスバッテリー	4本	
１４	ターポリン担架足袋付き	1式	
１５	吸引器	1式	レールダルLSU４０００
１６	気管挿管用ドーナツ枕（大）	1個	
１７	ペリカンライト	2個	スティルライトLED蓄光ヘッド